



篠小だより

～学ぶ つながる 篠原の子～

令和4年10月31日

11月号

〒222-0022 横浜市港北区篠原東三丁目27番1号 Tel.045-401-9532 fax045-431-9538
横浜市立篠原小学校 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/shinohara/>

総合的な学習の時間に

校長 松久保 伸子

10月27日金曜日 5年3組の教室に「篠原城と緑を守る会」の皆様が出前授業に来てくださいました。新横浜駅篠原口から少し菊名方面よりの場所に、こんもりとした森があります。ここが鎌倉時代に作られた篠原城の跡地であり、篠原小学校の子どもたちはたびたびこの城跡のことを学習していたそうです。コロナ禍でストップしていた篠原城址を材とした学習を、今年度やっと復活させることができました。会の皆様のご協力により、普段は非公開の篠原城址の見学を予定しています。まちな残る遺跡を目の当たりにして、子どもたちは何を考えるでしょう。この跡地を守ってきた地域の方々の思いを知り、子どもたちはどんな考えをもつようになるのでしょうか。子どもたちの学びの行く先が楽しみでなりません。



3年生から始まる総合的な学習の時間には教科書がありません。子どもたちと担任が学習の材を探し、課題を立てて追求していきます。主体的に課題に取り組む中で、社会に参画しようとする態度を育てていくことにもつながっていきます。今年度子どもたちと担任が材を選び、学んでいることの一部を紹介します。

3年 初めての総合ですので、まちのことから始めました。まちの紹介や歌作りなど活動が広がっていきます。

4年 環境のために自分たちができることを考えています。大黒ふ頭で海釣りを体験する予定でしたが、雨天で中止に。うまくいかなかったことを、違う形で実現させようとするのも総合のだいご味、4年生はどう考えるのでしょうか。

5年 未来の篠原を考えることをテーマに、米作りや環境についても学んでいます。

6年 いろいろな職業の方と出会いながら自分づくりについて考えています。市庁舎で働く市職員や歯科医師など、たくさんの方から仕事の話聞いています。

個別級 しのファームで様々な野菜を育てています。育てた野菜をどのように活用するのか、選択肢は無限に広がります。

学校教育目標「学ぶ つながる 篠原の子」の中では、地域や社会の方々とつながり、考えることで、「しのはら」のまちを愛し、他者と協働する力を育てることを一つのねらいとしています。総合的な学習の時間は、まさしくこのねらいを追い求めるのにぴったりの学習です。地域の方々をはじめ、たくさんの方々と出会う学習をどんどん続けていきたいと思えます。